

PART 7
1
世界の潮流

米国のインシチュアテックの取り組み①

国際社会経済研究所
(NECCグループ)主幹研究員

大平 公一郎



るカリフォルニア州や金融の中心地であるニューヨーク州などに集積している。ベンチャーキャピタルなどによるインシチュアテックスタートアップ企業への投資額も世界的に増加傾向にある。その多くは米国企業が、その多くは米国企業に向けた投資となつていく。

保険料割り引き

分野別にみると、自動車保険では、自動車のセンサーを取り付けることで、運転速度やブレーキのタイミング、運転

米国におけるUBIの例

保険会社	サービス名
Progressive	Snapshot
Allstate	Drivewise
Liberty Mutual	RightTrack
Root Insurance	Root

する時間帯や走行距離などを測定し、安全な運転をする契約者の保険料を割り引くUBI (Usage based Insurance) が普及している。専用のセンサーで得た運転情報は、スマートフォン

のGPS (全地球測位システム) や加速度センサーを利用することで、より簡便に運転情報を入手・分析するUBIも登場している。UBIをもう一步進め、距離に応じて保険料が変化するPay-per-Mile (従量制) の自動車保険を提供する企業もあり、スタートアップ企業の間では有名だ。専用センサーやスマートフォンで得た運転情報は、スマートフォン上のアプリケーションを通じて、事故防止が図られる。UBIも登場している。UBIをもう一步進め、距離に応じて保険料が変化するPay-per-Mile (従量制) の自動車保険を提供する企業もあり、スタートアップ企業の間では有名だ。専用センサーやスマートフォンで得た運転情報は、スマートフォン上のアプリケーションを通じて、事故防止が図られる。UBIも登場している。UBIをもう一步進め、距離に応じて保険料が変化するPay-per-Mile (従量制) の自動車保険を提供する企業もあり、スタートアップ企業の間では有名だ。専用センサーやスマートフォンで得た運転情報は、スマートフォン上のアプリケーションを通じて、事故防止が図られる。

査定を代替

自動車事故の損害査定では、契約者が自ら車のスマートフォンで撮影した画像を送付することで、調査員による査定を代替するサービスが普及し始めている。

世界一の保険国
米国は、年間の保険料収入が1兆ドルを超える、世界最大の保険大国である。そして人工知能(AI)やIoT(Internet of Things)のインターネット、モバイルなど新しいICTを保険に活用

契約者・保険会社に利点

次回、住宅におけるIoT機器の活用などについて取り上げてみたい。(金曜日掲載)